

情報基礎演習I(プログラミング)

第8回
6月8日
水曜5限
江草由佳

egusa-y@tsurumi-u.ac.jp
http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/

お知らせ

- 前から4列目までの席に着席すること
- ノートパソコンを起動しておくこと
- 前回の授業資料や補足説明などは以下のWebページにあります。
 - http://amazon.slis.tsukuba.ac.jp/~yuka/lecture/2005/basic/
 - 先週までのところでわからないことなどがあれば適宜参照すること
- メールアドレス: egusa-y@tsurumi-u.ac.jp

先週のまとめ

- ファイル入力
FILENO = FreeFile()
FileOpen(FILENO, "..¥..¥Tosho.txt", OpenMode.Input)
Input(FILENO, NO)
FileClose()

本日のお品書き

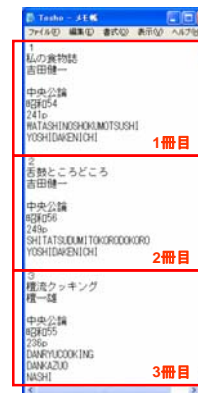
- HYOJI2の作成
 - VBで作成されるファイルの説明
 - 既存のファイルを利用
 - Form1.vbを削除
 - HYOJI.vbを挿入
 - HYOJI2.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - 画面のプロパティの変更
 - プログラムの変更
 - 保存・実行・動作確認

VII.2

テキストファイルからの入力を表示する +どのボタンを押しても大丈夫な アプリケーションの作成

- テキスト:p.27~ VII.2
- プロジェクト名:HYOJI2
- この章では、**データをテキストファイルから入力して表示する方法+どのボタンを押しても大丈夫なようにする方法**を習得する。

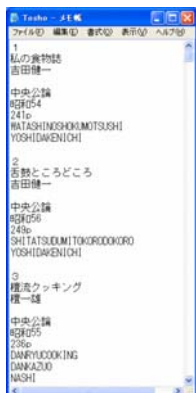
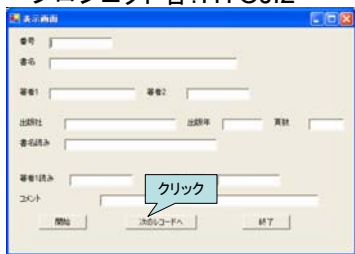
入力テキストファイル



- ファイル名は「Tosho.txt」
- 保存場所は「¥情報処理演習¥」
- メモ帳で図書の情報を入力する(ないものは空白)
 - 1行目: 通し番号(1~)
 - 2行目: 書名
 - 3行目: 著者名1
 - 4行目: 著者名2
 - 5行目: 出版社
 - 6行目: 出版年
 - 7行目: ページ数
 - 8行目: 書名の読み
 - 9行目: 著者名1の読み
 - 10行目: 著者名2の読み

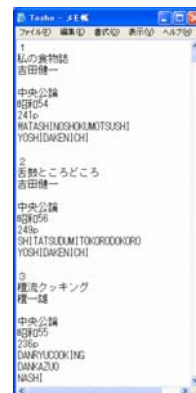
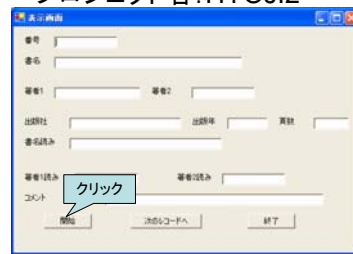
VII.2. どんなプロジェクト?

- プロジェクト名:HYOJI2



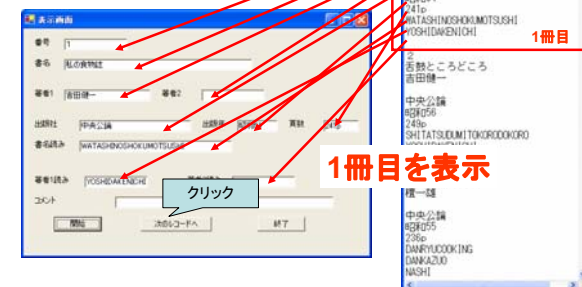
VII.2. どんなプロジェクト?

- プロジェクト名:HYOJI2



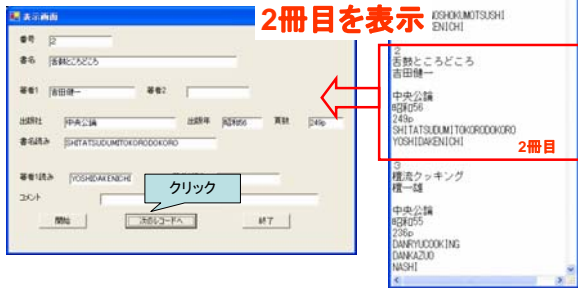
VII.2. どんなプロジェクト?

- プロジェクト名:HYOJI2



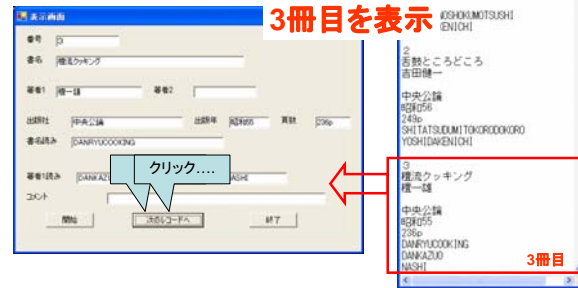
VII.2. どんなプロジェクト

- プロジェクト名:HYOJI2



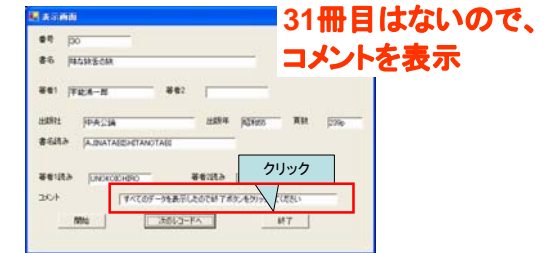
VII.2. どんなプロジェクト

- プロジェクト名:HYOJI2



VII.2. どんなプロジェクト?

- プロジェクト名:HYOJI2



演習1:既存のプロジェクトを利用する

- 新しくHYOJI2プロジェクトを作成
 - どんなファイルができたか確認する
 - すでにHYOJI2を作っている人はHYOJI2.oldに名前を変えておく
- Form1.vbを削除
- HYOJI.vbを挿入
- HYOJI2.vbに名前を変更
- Module1.vbを挿入
- 確認
 - 保存・実行してみる(HYOJIとまったく同じになっていることを確認する)
 - どんなファイルができたか確認する
- 画面のプロパティの変更(HYOJIから変更した部分を変更)
- プログラムの変更(HYOJIから変更した部分を変更)
- 保存・実行・動作確認

1.新しくHYOJI2プロジェクトを作成(1)

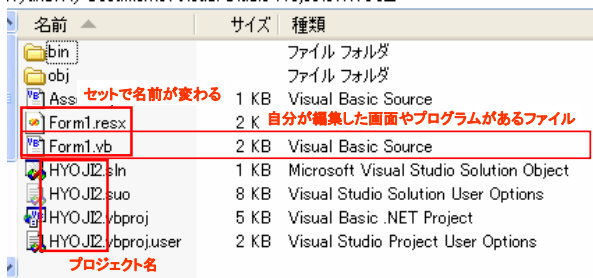
- 新規にHYOJI2プロジェクトを作成する
 - HYOJIプロジェクトからの再利用の演習をするために必要
 - すでにHYOJI2を作成しているものはフォルダの名前を「HYOJI2.old」に変える

1.新しくHYOJI2プロジェクトを作成(2)

どんなファイルができたか?

- HYOJI2プロジェクトのフォルダを開いて確認してみよう
- マイドキュメント¥情報基礎演習¥HYOJI2を開く
 - 「スタート」→「マイドキュメント」
 - 「情報基礎演習I」をダブルクリック
 - 「HYOJI2」をダブルクリック
- 詳細表示をみる
 - 「表示」→「詳細」
 - 「ツール」→「フォルダオプション」
 - 「表示」
 - 「すべてのファイルとフォルダを表示する」
 - 「登録されている拡張子が表示しない」
 - 「OK」

1.新しくHYOJI2プロジェクトを作成(3) HYOJI2プロジェクトのファイル



- フォルダ:2、ファイル:7(1には隠しファイル)

2. Form1.vbを削除

- はじめからあるForm1.vbを削除する

 - ソリューションエクスプローラのForm1.vb上で右クリック
 - 「削除」を選択
 - 「OK」をクリック('Form1.vb'は完全に削除されます)

3. HYOJI.vbを挿入

- HYOJIプロジェクトの画面やプロジェクトを再利用するために、HYOJIプロジェクトのHYOJI.vbを挿入
- 「ファイル」→「既存の項目の追加」
- 「ひとつ上のフォルダへ移動」→「HYOJI」をダブルクリック
- 「HYOJI.vb」(ない場合はForm1.vb)をクリック
- 「開く」をクリック
- 「すべてを保存」

4.HYOJI2.vbに変更

- HYOJI.vbからHYOJI2.vbに名前を変更してHYOJI2.vbだとわかりやすくする
1. ソリューションエクスプローラのHYOJI.vb上で右クリック
 2. 「名前の変更」を選択
 3. 「HYOJI2.vb」と書き換えて「Enter」キーを押す

19

5. Module1.vbを挿入

- HYOJIプロジェクトの標準モジュールを再利用するために、HYOJIプロジェクトのModule1.vbを挿入
- 「ファイル」→「既存の項目の追加」
 - (「ひとつ上のフォルダへ移動」→「HYOJI」をダブルクリック)
 - 「Module1.vb」をクリック
 - 「開く」をクリック
 - 「すべてを保存」

20

6.確認(1)

--保存・実行してみる--

- HYOJIとまったく同じになっていることを確認
- 保存
- 実行
- 動作確認
 - 「開始」ボタンをクリック
 - 「次のレコード」ボタンをクリック
 - 「終了」ボタンをクリック

21

6.確認(2)

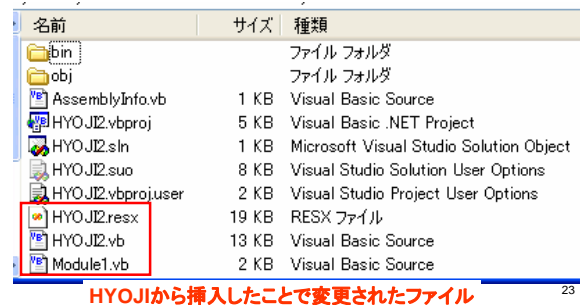
--どんなファイルができたか？(1)--

- HYOJI2プロジェクトのフォルダを開いて確認してみよう
- マイドキュメント¥情報基礎演習¥HYOJI2を開く
 - 「スタート」→「マイドキュメント」
 - 「情報基礎演習」をダブルクリック
 - 「HYOJI2」をダブルクリック

22

6.確認(3)

--どんなファイルができたか？(2)--



23

7.画面のプロパティの変更

- HYOJIプロジェクトとHYOJI2プロジェクトの違い
 - ラベルが1つ増えた
 - テキストボックスが1つ増えた
- 追加するオブジェクトのみのプロパティ表

| オブジェクト | プロパティ | 値 |
|---------|-------|------------|
| Label | Name | lblCOMMENT |
| | Text | コメント |
| TextBox | Name | txtCOMMENT |
| | Text | (空欄) |

24

8.プログラムの変更

- 配布資料のModule1.vbの14,15行目を追加
- 配布資料のHYOJI2.vbの14~17,23~25,46~54行目を追加
 - 新しい変数の定義の追加
 - 2度以上開始ボタンを押したときの処理を追加
 - 開始ボタンの前に次へのボタンを押したときの処理を追加
 - 全てのレコードを表示したときの処理を追加

25

9.確認 --保存・実行してみる--

- 保存
- 実行
- 動作確認
 1. 「次のレコード」ボタンをクリック
 - 「開始ボタンをクリックしてください」と表示されるか？
 2. 「開始」ボタンをクリック
 3. 「開始」ボタンをクリック
 - 「次へのボタンをクリックしてください」と表示されるか？
 4. 「次のレコード」ボタンを30回クリック
 - 「すべてのデータを表示したので終了ボタンを...」が表示されるか？
 5. 「終了」ボタンをクリック

26

本日のまとめ

- HYOJI2の作成
 - VBで作成されるファイルの説明
 - 既存のファイルを利用
 - Form1.vbを削除
 - HYOJI.vbを挿入
 - HYOJI2.vbに名前を変更
 - Module1.vbを挿入
 - 画面のプロパティの変更
 - プログラムの変更
 - 保存・実行・動作確認

27